

守谷ボランティア NEWS

2026年8月号（毎月1日発行）



<発行> 守谷市民活動支援センター
〒302-0119 守谷市御所ヶ丘5丁目25番1
守谷市市民交流プラザ2階
電話：0297-46-3370 FAX：0297-46-3320
Email：supportcenter@moriya-cac.org
ホームページURL：https://moriya-cac.org/
開館時間：午前9時～午後5時（午後8時まで延長可）
休館日：月曜日、年末年始

夏休みの課題「こども新聞を作ろう」作品募集

「こども新聞」は今年度で15回目を迎えます。昨年度は172点の作品が集まりました。聞いたこと、調べたことを記事にまとめて新聞を作ってみよう！

- 対象 市内小学校4～6年生 ●提出期限 9月3日(木)
- 展示場所 [イオンタウン守谷] 9月14日(月)～27日(日)
[支援センター] 9月29日(火)～10月11日(日)
- 主催・問合せ先 市民活動支援センター

※提出方法など、詳細はセンターHPに掲載しています➡



【新体制】視覚障がい者協会のメンバー募集と発足総会

新体制となる守谷市視覚障がい者協会のメンバーを募集します。楽しく安全な生活を送るために、市内の情報を共有して、交流の場を広げませんか。発足総会へもぜひご参加ください。

- 日時 8月29日(土) 10:00～12:00 ●会場 もりりん高野 集会室1
- 対象 視覚障がいのある方とその関係者 ●参加費 無料
- 問合せ先 守谷市視覚障がい者協会 永嶋

☎080-3465-8722 akinaga513@yahoo.co.jp



市民の知識・経験を地域に活かす「まちからメイト」を募集！

地域の中にある「貸したい力」と「借りたい力」を結びつけ、活かすための仕組み『まちからBOX』が始動します。まずは「貸したい力」をお持ちの「まちからメイト」を募集します！詳細はHPをご覧ください➡

※ご登録いただいた個人情報は、ご本人の同意なしに第三者へ開示・提供することはありません。



【チャリティー企画】 木版画・テラリウムの展示会

市内に住む爺ちゃん（79歳）と孫（16歳）が制作した木版画とテラリウムを展示・販売します。

※作品の売上の一部は、子ども食堂等に寄付

- 日時 9月19日(土)～27日(日)
※9月21日（月・祝）は休館日
10:00～17:00(最終日は15:00まで)
- 会場 市民活動支援センター フリースペース
- 主催・問合せ先 山藤 ☎080-9646-5533



【講演会】人と動物が幸せに生きる社会をつくるNPO法人キドックスの活動紹介

【社会課題を解決するためのNPOの立ち上げ方と運営の方法】

子どもや若者と保護動物に居場所や活動の機会を提供する「NPO法人キドックス」の講演会です。

- 日時 9月6日(日)13:30～15:00(13時開場)
- 会場 市民活動支援センター 会議室
- 講師 上山琴美氏（キドックス創設者・代表理事）
- 定員 40人※超過の場合抽選 ●参加費 無料
- 申込方法 QRコードまたは支援センター窓口
- 申込期限 8月30日(日)
- 主催 もりや公益活動促進協会



登録団体活動情報 8月

各団体の活動予定は変更になる場合があります。事前に各問合せ先にご確認ください。

団体名	場所	活動日	問合せ先
常総映像 ビデオ撮影・編集の協力・技術向上のための研修	守谷市民活動支援センター	毎月第4日曜日午後および偶数月第1金曜日午後	高木 090-1268-0269
おはなしの会「みはる組」 絵本、紙芝居、パネルシアター	ミ・ナーデ、特別養護老人ホーム「やまゆりの郷」他	偶数月第3土曜日打合せ 偶数月第4土曜日おはなし会 他	佐藤 090-5543-6604
郷土保全団体もりやの郷 ゴミ拾い、環境調査	主に高野地区の河川	不定期（月1回程度）	小手 090-4752-8202



昭和の夏休みは、朝のラジオ体操に始まり、虫取りや川遊び、日暮れまで外を駆け回るのが定番でした。宿題を最後の数日でまとめてやる「あるある」も懐かしい光景です。令和の夏休みは様変わりしています。猛暑で外遊びは控えめになり、塾やオンライン学習で過ごす子も増えました。スマホやゲームが娯楽の中心となり、友達との交流もSNSを介することが珍しくありません。そんな中、キ・ターレでは毎年カブトムシの配布日に合わせ、「もりサボ塾」の卒業生である高校生がボランティアで「カブトムシ相談コーナー」を開いてくれています。かつての生徒が今度は地域の子どもの相談相手となる姿に、世代を超えたつながりを感じます。今年はぜひ、カブトムシを育ててみてはいかがでしょうか。夏休みの過ごし方は変わっても、こうした温かい交流は今も昔も変わらぬ夏の風物詩といえるでしょう。

助成金情報 * 内容は変更になる場合があります。各HPをご確認ください。

環境	～/31 TOTO 水環境基金 TOTO 株式会社 https://jp.toto.com/
社会教育	～9/7 スミセイ未来を強くする子育てプロジェクト 住友生命保険相互会社 https://www.sumitomolife.co.jp/
医療・福祉	～11/30 障がい者支援団体への活動に対する支援事業 一般財団法人あすたむ舎 https://www.ustamsha.or.jp/grant/



こんにちは！守谷のボランティアさん 「市民活動支援センター」の活動取材してきました

2026年7月9日（木） @市民活動支援センター

8月号からボランティア団体の取材担当になりました「市民活動とどけ隊」です。

今回は、ボランティア団体の強い味方である「市民活動支援センター」を取材してきました。

市民活動支援センターは、「貸したい力、借りたい力、つなげます」を理念に人と人、ボランティア団体同士をつなぎ、市民活動のサポートをしています。人材の紹介やコラボイベントの橋渡しなどさまざまな支援を行なっています。

★高橋センター長にお話を伺いました。
市民活動支援センターは「地域の市民活動を支援するとともに、団体や個人をつなぎ、支え合いを促進する拠点」としての役割を担っています。この春から体制が変わり、常勤スタッフが4名になりました。相談や支援体制がさらに充実し、これまで以上に手厚いサポートができるようになっています。

高橋センター長の思い…

『情報収集はアナログで、情報発信はデジタルで』団体の活動現場に自ら足を運び、直接ヒアリングすることを大切にしています。地道な対話の積み重ねが団体との信頼関係を築き、本当に必要な情報を引き出すことにつながっていると思います。「足を運ぶ」「信頼関係」「能動的な姿勢」といった取り組みの先にある目標が「伴走支援」、高橋センター長の熱い思いが心に響きます。



★常勤スタッフにインタビュー！

大塚(由)さん 勤務歴6年

「常に新しいことを吸収できるように心掛けています。これからも団体さんを支援します！」

大塚(菜)さん 勤務歴7ヶ月

「今年1月に入社しました。NPO法人協働もりやの経理をしております。日々勉強中です。よろしくお願いします。」

黒田さん 勤務歴4ヶ月

「4月に入社し、市民大学や広報ページを担当しています。センターの仕事を通して守谷市の素敵なおところを日々発見中です。」

志賀さん 勤務歴3ヶ月

「5月から勤務しています。まだまだ勉強中ですが、見掛けましたら気軽にお声がけください」



「ボランティアってどんなことをするのだろう」「わたしでもできるのだろうか」と思いながらも興味がある方も多いと思います。ボランティアは誰でも気軽に始められる活動です。支援センターをちょっと覗いてみませんか。

市民活動支援センター
市民活動とどけ隊